

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 075	提案機関名 横浜市漁業協同組合
要望問題名 貝毒及び貝毒プランクトンのモニタリングについて	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 横浜市漁協では、養殖ホタテガイの貝毒検査を実施して、安全な二枚貝を食堂で提供したり直販している。しかしながら、貝毒検査費用はかなり高額であり、頻繁に実施することは困難である。 そこで、東京内湾での貝毒プランクトンや貝毒のモニタリングにより貝毒の発生時期等の情報を提供していただくことにより、より安全な二枚貝の提供が可能となることから、モニタリング及びその情報提供をお願いしたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部普及指導担当
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 沿岸水産資源再生技術開発事業費		
対応の内容等	平成26年度から、本県沿岸域の貝毒プランクトンの発生状況を把握するために、水産技術センターが月1回の貝毒プランクトン調査を横浜市と横須賀市の東京湾側で実施しています。 さらに、貝毒プランクトンの発生状況と貝毒の毒量の関係についても、平成27年度から貝毒検査による調査を始めました。横浜市漁協につきましては、冬期養殖するホタテガイの貝毒について、調査を実施します。 これら調査結果から平成31年度までには、「神奈川県貝毒安全対策指針」を策定し、漁協の自主的な貝毒検査が、適切にできるよう取り組んで参ります。		
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			